

はじめに

背景及び趣旨

クリーンランドにおいては、平成 24 年度（2012 年度）からリサイクルプラザ（愛称：豊中伊丹スリーR・センター）の稼働に併せて、両市市民へのパブリックコメントによる意見聴取や環境分野の有識者による活発な議論を行った経緯を踏まえ、さらなる 3R の推進を図るための環境学習を展開していく。そこで、環境に対する意識を高め、環境に配慮した行動の考え方、方向性を示すことを目的に「豊中市伊丹市クリーンランド環境学習基本方針」を策定する。

第 1 章 環境学習をめぐる状況

両市の取り組み

《豊中市》

- ・平成 7 年（1995 年）10 月 「豊中市環境基本条例」制定
- ・平成 11 年（1999 年）3 月 「豊中市環境基本計画」策定
- ・平成 23 年（2011 年）2 月 「第 2 次豊中市環境基本計画」策定
- ・平成 30 年（2018 年）3 月 「第 3 次豊中環境基本計画」策定（令和 5 年 3 月改定）

《伊丹市》

- ・平成 15 年（2003 年）3 月 「伊丹市環境基本条例」制定
- ・平成 16 年（2004 年）3 月 「伊丹市環境基本計画」策定
- ・平成 23 年（2011 年）3 月 「伊丹市環境基本計画（第 2 次）」策定
- ・令和 3 年（2021 年）3 月 「伊丹市環境基本計画（第 3 次）」策定（令和 5 年 3 月及び令和 7 年 3 月改定）

クリーンランドの取り組み

「ごみ処理」という市民生活の基盤を支える業務を通して市民とのつながりを深めていくことが大切であるとの視点から、共に学び、共に育つ関係を築き上げるよう努めている。その中で市民の「ごみ処理」に対する理解度を高め、①ごみ処理を通して 3R を推進する、②様々なイベントにおいて市民との交流を深める、③市民の視点に立ち市民との協働関係を深めるなどの環境啓発活動に取り組んでいる。

今後は

深い知識を持つ市民・NPO とともに協働の理念に基づき、豊中市及び伊丹市における環境にやさしいまちづくりを通した循環型社会形成の推進に貢献するために、豊中伊丹スリーR・センターにおいて独自の環境学習機能を提供することにより、『循環型社会推進の拠点』となることを推進している。

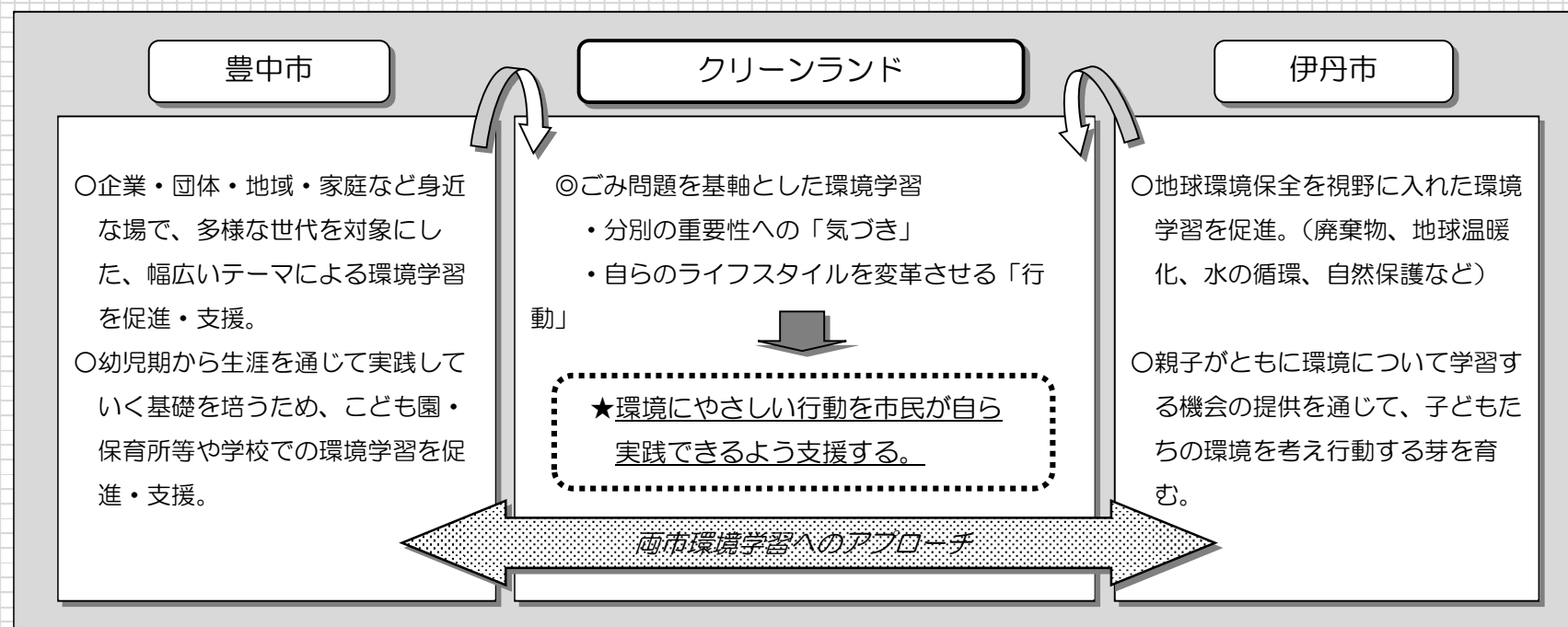
【令和 6 年度から 8 年度までの目標値】

- ・施設見学者数・・・毎年度 8,000 人以上
- ・出前講座参加者数・・・毎年度 6,000 人以上
- ・リユース事業・・・毎年度 130 点以上の譲渡

第 2 章 環境学習のめざす方向

クリーンランドの役割

ごみ問題を基軸とした環境学習。とりわけ「分別」の重要性に「気づき」、自らのライフスタイルを変革させる「行動」に結び付けるための“学習の場”となることをめざす。



第 3 章 環境学習の進め方

施設見学を起点とした取り組み

①クリーンランドの役割を知る。

②ごみ処理にかかる手間や問題に気づく。

③分別することで“ごみ”がどう変化するかを考える。

④日常生活における環境にやさしい行動の実践。

施設見学以外の取り組み

クリーンランドから両市市域への展開

リユースコーナーの実施

出前講座の実施

市民参加型イベントの開催・出展

市民参加によるワークショップの開催

点検・評価

「市民の行動がどのくらい変わったか」という評価指標

年度計画

プログラムの実施

見直し・検証

点検・評価

環境学習推進会議による検証・評価